

地震発生時の対応について

○登校前

- ・震度 4 以下の場合 →原則、通常通り
→学校は施設点検（および通学路を点検）→場合によっては自宅待機または休校に変更
→学校はミマモルメを配信
- ・震度 5 弱以上の場合→自宅待機
→学校はミマモルメを配信
→学校は施設および通学路を点検、教育委員会と協議、決定内容をミマモルメで配信

○登下校中

- ・大きな揺れが発生→原則、帰宅、判断がつかず登校する（学校に戻る）児童はグラウンドに誘導
→グラウンドで点呼→教育委員会と協議、決定後教室へ誘導またはグラウンドで待機
→学校はミマモルメにて「お迎え」を依頼
→学校は登校していない（下校済み）の児童宅へ在宅確認

○授業中

- ・大きな揺れが発生→机の中に入るよう指示、グラウンドの場合は校舎からできるだけ離れて頭をかばい低い姿勢をとる。廊下にいる場合は窓ガラスからできるだけ離れて頭をかばい低い姿勢をとる。体育館の場合は照明、窓からできるだけ離れて頭をかばい低い姿勢をとる。プールの場合はすぐにプールから出て、頭をかばい低い姿勢をとる。
→教室で待機。廊下にいる児童を近くの教室に誘導。グラウンドにいる児童はグラウンド待機。
→避難経路およびグラウンドの安全（特に高圧送電線）を確認。その際、放送で「現在、避難経路とグラウンドの安全を確認しています。落ち着いて教室待機してください」
→安全が確認できたら、グラウンドへ誘導（校舎、送電線から離れた位置） ※屋外の階段は使用しない。
→グラウンドで点呼→教育委員会と協議、決定後教室へ誘導またはグラウンドで待機
→学校はミマモルメにて「お迎え」を依頼